

新会員卓話 得能 健次 会員

多くの方に知ってほしい、私達のロータリー財団

地区ロータリー財団委員会副委員長 出村知佳子氏

ロータリーのHPで「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。」と書かれています。ロータリー財団は100年以上も前に創立されて以来、教育の支援や持続可能な成果を生み出すプロジェクトに総額40億ドル以上の資金を提供してきました。御寄付により、世界中の地域社会を少しずつ変えていくことができます。

ロータリー財団の事業の原資は会員皆様からの御寄付であり、多くの方にプログラムの素晴らしさを伝えることは大事で、それが公共イメージの向上につながり、仲間を増やす「会員増強」にもつながり、「持続可能な社会づくりと平和の推進」につながっていると感じています。

皆様の御支援で、グローバル補助金は3万ドル以上という大きなプロジェクトになります。この事業資金の約半分が当地区のDDFから、残り半分は各々のグローバル補助金事業へWFから資金を頂戴しています。当地区の皆様からの御寄付に加え、平均12万ドル程を世界の皆様からの御寄付によるWFを頂き、事業をさせて頂いているイメージです。

タイ東北ブンカン県での「WASH水と衛生」グローバル補助金事業ですが、皆様の御協力のおかげで無事完了し、リサイクルせっけんが財政面で持続可能を実現し、WASHの手洗い指導による衛生指導が、生徒たちの衛生習慣として持続可能なものとなりました。

次は基本的教育と識字率向上に関するグローバルです。現地(Nghe-An)の学生及び教師の基礎教育と識字率の向上のため早急にデジタルオンラインによる教育環境を整える必要があります。

2015年には、職業訓練事業のグローバルが実施さ

れ、当地区のロータリアンも講師として参加しました。現在は持続可能な事業として効果やトレーニングが持続、技術も大きく向上し子供達の未来を支えています。

グローバル補助金では重点分野に直結した奨学生も輩出しています。

コロナ禍でZoom会議等が普及し、留学中や海外で活躍中の財団奨学生や学友とも顔を見ながらお話できるようになりました。ロータリー財団には、世界平和を推進する重要な役割を担う「ロータリー平和フェロー」もあります。

また各クラブからのポリオへの指定寄付や、DDFからの指定寄付で、ロータリー財団は「ポリオ根絶」にも力を注いでいます。

地区補助金事業は、各クラブ・委員会の活動プロジェクトに対しての補助金です。地区に裁量があるため、地域や急なニーズにも対応できる補助金です。

このように環境の保全が加わり、財団は重点分野を中心として支援を実践し、世界中の地域に大きな変化を与えています。多

くの会員の御協力を頂きながら、TEAMの協力なくしてなしえないこともわかりました。

皆様のおかげで、多くのこどもたちの未来への物語が続いています。本日の卓話の機会を頂き誠にありがとうございました。

